

“みんなごと”のまちづくり推進事業「活動進化プログラム」 伴走型支援プロジェクト前半レポート

8/30（水）、「活動進化プログラム」伴走型プロジェクトが始まりました。



「活動進化プログラム」伴走型プロジェクトは、約6ヶ月間、想いをもって取り組みをされている5つの団体の皆さんと共に、京都の未来も良くなる事業を創り出していく試みです。

●伴走型プロジェクト参加団体/取組みテーマ

- ・ 一般社団法人京都映画文化芸術研究所
『歴史的に貴重なフィルムの保存 / 活用』
- ・ 京都府更生保護女性連盟
『生きづらさを抱える若い女性や少女の支援』
- ・ 就労移行支援事業所スマイルプラス烏丸御池
『地域に障害者の方、hikikomoriの方の居場所を作る』
- ・ 西喜商店
『廃棄野菜を使いきるフードロス対策』
- ・ 日本胎教協会
『「おなかのあかちゃん」の子育て支援』

【プロジェクト参加団体の取組提案はこちら】

<http://machigoto.org/2017/08/28/minnagoto2017-3/>

プロジェクトの前半（8月,9月）には全ての参加団体が集まり、3回のセッションが行われました。

第1回では、5団体のこれまでの取組み、どんな想いをもち応募したのかが話されました。



様々なプロセスを経てきた5団体が、このタイミングで、同じ場所に集い、6ヶ月間のプロジェクトを共にスタートするに至ったのは何故か？

そして、それぞれの目指す将来像をイメージしながら、『京都発のプロジェクト』を生み出したい。といった話題で盛り上がりました。

第2回では、改めて『なぜ、その未来を実現したいと思ったのか』の背景に触れるストーリーテリングとインタビューを行いました。

『実現したいこと』だけではなく、そう思った背景や原体験、その先に描いている未来や、みんなにとって大事だと思えるポイントを伺っていくことで、その活動の意味を探っていきました。



各団体からは、「背景がわかるからこそ、共感が生まれることがわかった」
「自分の中で抱いていた社会のモヤモヤを言葉にすることが1つできた」
「質問されることで、やりたいのは誰かのためでなく、自分が実現したいと思っているからだを知った」
など、色々な気づきの声が生まれたようです。

第3回目のセッションでは
実現したい未来に向けて、どんな一歩から始めるか、
整理しブラッシュアップする時間になりました。



『京都発のプロジェクト』『持続的な解決モデル』『異なるセクター』
そんなキーワードをもとに話し合い、
想いやアイデアを磨き上げていくことで
これまでと違ったアクションも見えてきたようです。

そして現在、各団体がそれぞれのプランを掲げ、
伴走者を見つけて実現に向け動き出しています！